KUMAMOTO
GREEN Rotary-Club
The Weekly Bulletin
Kumamoto green rotary·club district 2720 rotary international

人類に奉仕するロータリー

2016～2017年度 テーマ

国際ロータリー 「人類に奉仕するロータリー」 R.I.会長 ジョン.F.ジャーム
地区方針 「学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて」 R.I.2720 地区 ガバナー 前田眞実
熊本グリーンRC 「ロータリーを育て行動しよう」 熊本グリーンRC会長 河島一夫

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4－2 熊本ホテルキャッスル
TEL096－326－3311
■創立：平成元年2月22日 ■会長：河島一夫 ■幹事：葉髙源 ■会報担当：長野義文
■事務所：熊本市中央区城東町4－2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096－354－4521 FAX096－354－4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー 第2720地区 熊本グリーンロータリークラブ週報

【２０１６年11月７日】

第１２３５回
2016-2017年度 第１５回

★ 熊本グリーンＲＣ・熊本北ＲＣ合同例会式次第 ★

日時：平成２８年１１月７日（月）１８：３０～（於：ホテルキャッスル）
★例 会（１８：３０）
司 会 田中 純司 S.A.A.（熊本グリーン）
点 鐘　河島 一夫 会長（熊本グリーン）
国歌斉唱
ロータリーソング（奉仕の理想）
来訪者紹介　河島 一夫 会長（熊本グリーン）
友情の握手
会長スピーチ　河島 一夫 会長（熊本グリーン）
〃　中川 信三 会長（熊本北）
幹事報告　葉 髙源 会員（熊本グリーン）
出席報告　荒木 一之 会員（熊本グリーン）
〃　白石 正英 会員（熊本北）
委員会報告
スマイル報告　福島 和見 会員（熊本グリーン）
荒木 健司 会員（熊本北）

中川信三熊本北RC会長

卓 話（１９：００）
卓話者紹介　河島 一夫 会員（熊本グリーン）
「小泉八雲の小説の朗読」
題目：「停車場にて」「橋の上」題目：「停車場にて」「橋の上」
池田さとみ氏（フリーアナウンサー）・津留清美 氏（詩人）
点 鐘（１９：３０）　中川 信三 会長（熊本北）

[懇親会]（１９：４５位～ 会費：３，０００円）
※「懇親会」は例会終了後、下記の場所に移動して開催致します。
※「もっとも」（上通町５－６ 村上屋ビル２Ｆ）
★蜂楽饅頭の隣のビル２Ｆ TEL：３５２－６４３８

卓話予定

【11月】 ～「ロータリー財団月間」～
14日 米山奨学生卓話 張瀚博（チョウ カン ハク）さん （国籍：中国・熊本大学）
世話クラブ：熊本南ＲＣ
21日 「女子野球チーム“暴れん坊ガールズ”とは」
28日 ロータリー財団月間卓話 地区ロータリー財団委員 木村 初 氏

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] http://www.kg-rc.com/

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

来訪者紹介　（河島 一夫 会長）

卓話者:
池田さとみ氏（フリーアナウンサー）
津留 清美氏（詩人）

会長スピーチ　（河島 一夫 会長）

今日は、熊本北クラブとの合同例会です。賑やかな例会になって嬉しいものです。また、卓話は、友人の津留清美君と池田さとみさんの小泉八雲の朗読会です。楽しみです。それにしても、韓国の大統領の問題は、日本の総理大臣とは、その環境が随分と違うことに、驚きを感じます。韓国の大統領は、孤独な政治家だと思いました。また、アメリカでは、大統領の選挙で、トランプ氏当選しないとは思いますが、どの様な得票に成るか関心があります。日本の安倍首相の政治も良いとは私は思いません。ロータリーは政治問題はタブーですが、あえて話しました。今日の例会を楽しみましょう。

幹事報告　（葉 髙源　幹事）

■　報告事項（その他のロータリー関係）

①「R財団100周年記念 第８回熊本中央ＲＣチャリティゴルフコンペ参加のお礼並びに報告」

先日、第８回熊本中央ＲＣのチャリティゴルフコンペへの御参加を賜り、ありがとうございました。９８名のご参加を頂き、盛会理のうちに終了することが出来ました。また参加費の一部を熊本地震義捐金として西原村へ寄付致しましたのでご報告申し上げます。

■　例会変更・取止め

＜変更＞

【熊本西陵RC】

11月28日（月）の例会は、新入会員歓迎会のため、同日18:30より、日本料理「おく村」にて行います。

委員会報告

報告者:
クラブ管理運営 河野 景治プログラム担長
「11月卓話スケジュール」参照

出席報告　（荒木一之 会員）

	会員総数	22名	出席率
11月7日	出席免除会員数	1名	66.67%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	14名	
10月26日	前回の出席会員数	10名	70.00%
	メークアップ数	4名	
	修正出席会員数	14名	

メークアップ済み会員及びメークアップ訪問先

10/27 熊本南RC　福島 君
10/21 熊本中央チャリティゴルフ 山下 君
10/28 I.M. 大友 君、伊津野君

スマイル

（福島和見クラブ管理運営委員（スマイル担当））

●熊本北RC（全員スマイル）
「熊本グリーンRC、熊本北RCの合同例会と池田さとみ様と津留清美様の朗読にスマイルします。」

●河島 一夫 君、葉 髙源 君
大友 利行 君、荒木 一之 君
「熊本北クラブとの合同例会にスマイルです。又、今日の卓話は小泉八雲の作品の朗読です。大変楽しみにしています。朗読される、池田さとみさんと津留清美さんよろしくお願い致します。」

●十時義七郎 君
「本日は北RCとの合同例会にて津留様、池田様の朗読を家内と一緒にお聞き出来る事に感謝してスマイル致します。」

●上田 觀一 君
「本日は北RCとの合同例会ありがとうございます。宜しくお願い致します。今日の卓話は小泉八雲の小説の朗読という事で楽しみにしていました。津留清美様、池田さとみ様宜しくお願い致します。」

●中島三千代 君
「本日は熊本北ロータリー様との合同例会を楽しみに一番に到着してしまいました。皆様で秋の夜長を朗読で楽しめる事へスマイルします!!」

●福島 和見 君
「津留さまと池田さまのご来訪を心より歓迎申し上げます。11月7日にちなんで、今日11Fで行われる、年に1度の「いい女会議パーティ」でお世話係りをさせて頂くため、途中退席の非礼をお許し下さい。お詫びにスマイルさせて頂きます。」
●長野 義文 君、栗山 義則 君、仙波 洋八 君
「津留清美先生、池田さとみ先生ありがとうございます。小泉八雲の朗読を初めて聴かせて頂きます。大変楽しみにしてお待ちしていました。」

3．例会プログラム

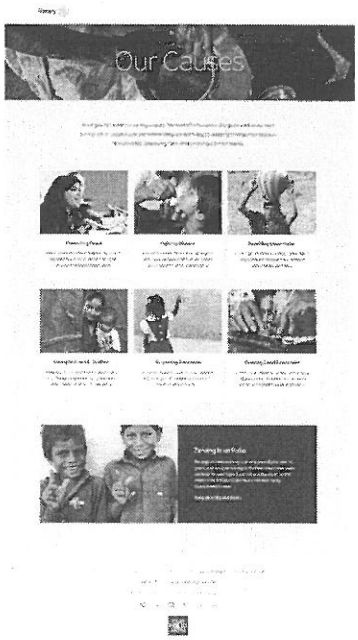
卓話者紹介:河島 一夫 会員（熊本グリーン）
「小泉八雲の小説の朗読」
題目:「停車場にて」「橋の上」題目:「停車場にて」「橋の上」
池田さとみ氏（フリーアナウンサー）
津留清美 氏（詩人）

4. 閉会・点鐘

１１月 卓話スケジュール
～「ロータリー財団月間」～

７日 ★熊本グリーンＲＣ・熊本北ＲＣ合同例会★
「小泉八雲の小説の朗読会」～「停車場にて」「橋の上」～
詩人 津留 清美 氏 フリーアナウンサー 池田さとみ 氏
※ 例会終了後場所を移動して「懇親会」開催
（於：「もっとも」 上通 村上屋ビル２Ｆ）
１４日 米山奨学生卓話
張 瀚 博（チョウ カン ハク）さん （国籍：中国・熊本大学）
世話クラブ：熊本南ＲＣ
２１日 「女子野球チーム“暴れん坊ガールズ”とは」
２８日 ロータリー財団月間卓話 地区ロータリー財団委員 木村 初 氏

ROTARY. ORGの装いが新たに

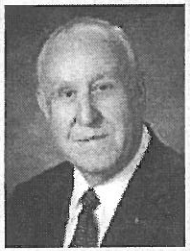


来年1月に新たなデザインで生まれ変わるRotary. orgでは、エキサイティングなロータリーの話題や情報が満載です。今回のリニューアルの作業は2段階にわたって行われ、まずは一般向けサイト、次にMy ROTARYが新しくなる予定です。

変化は一目瞭然です。モダンなデザイン、写真やグラフィックをふんだんに使った記事、ータリーの情報をもっとわかりやすく伝えるための整理されたコンテンツのほか、サイトのスピードアップなどの改善も加えられます。

今回のウェブサイトの模様替えで、ロータリーが世界にもたらしている影響や活動内容をより分かりやすく魅力的に伝え、入会、ボランティア参加、寄付への関心を生みだせると期待されています。1月に先立ち、その一部をご覧ください。重点分野のページでは、写真とシンプルな説明でロータリーの活動内容と成果を伝え、読者の関心を引き出しています。1月に一新されるRotary. orgをお見逃しなく！

会長メッセージ



ジョン F. ジャーム

1917年夏、アメリカが第一次世界大戦に参戦してからわずか数カ月後、ロータリーはアトランタで第8回年次大会を開きました。当時の多くのロータリアンは、この大会を中止すべきだと感じましたが、理事会は結局、予定通りに開催するというポール・ハリスの案に賛成しました。不安と恐怖が渦巻く中、ハリスは大会演説で、後にロータリーで最も多く引用されることになる次の言葉を残しています：

「よく指示された個人の努力は多くを成し遂げますが、最も偉大な善は、多くの人の努力が結集したときに生まれるものです。個人の努力は個人のニーズに向けることができます。しかし、大勢の努力の結集は、人類への奉仕に捧げなければなりません。結集された努力に限界というものはありません」

当時の会長、アーチ C. クランフが「世界でよいことをする」ためにロータリーの基金を設立するというアイデアを提案したのも、ちょうどこの大会でした。結集された努力は、結集されたリソースという新しい力と一体となったのです。過去100年間のロータリーの飽くなき活動を支えてきたのは、この結集でした。

26ドル50セントの寄付で始まった基金も、今では大きく成長し、世界に変化をもたらすプログラムやプロジェクトに30億ドル以上を投入してきました。私たちは今後も、ポリオ撲滅という目標に向けて大きく前進し、会員基盤を広げ、熱意ある人が集まって素晴らしいことを成し遂げるのがロータリーだということを人びとに示していきます。

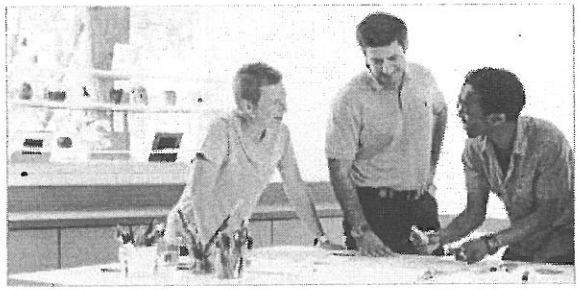
100周年度の祝賀は、財団誕生の地、アトランタでクライマックスを迎えます。第108回ロータリー国際大会は、これまでで最もエキサイティングな大会の一つとなることでしょう。感動を与える講演、素晴らしいエンターテイメント、幅広い主題の分科会で、ロータリー奉仕をさらに拡大できるに違いありません。もちろん、財団100周年の祝賀では大いに盛り上がります。

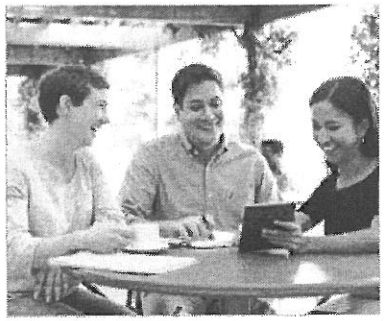
ロータリー財団は、私たちの全活動、そして今後私たちが行いたいと望む全活動にとって不可欠な存在です。財団の最初の100年間、私たちは世界に大きな影響をもたらしてきました。これからの100年に何ができるかを想像してみてください。

寄付推進

若者と寄付
心をつかむためのポイント

ファンドレイジングの分野では、若者は（年長者よりも）寄付する可能性が低く、寄付額も少ないことは周知の事実。米国の慈善寄付の約11%のみが、1981年〜1995年生まれの人によるものであり、ファンドレイジングという点では年長者よりも投資への見返りが少ない世代と言えます。





若者の心をつかむにはソーシャルメディアだけでは十分ではないことにも注意しましょう。つながるための一番の方法は、オンラインではなく実際にふれあうこと。これには、交流会、委員会、ボランティア活動などがあります。

市民としての責任感の欠如が問題なのではありません。例えば、「ミレニアル世代」のロータリープログラム学友を対象とした最近のフォーカスグループの結果からは、この世代の若者がロータリーやほかの非営利団体に強い関心と参加意欲を抱き、目に見える結果を出すプロジェクトになら寄付したいと考える傾向にあることがわかっています。

このフォーカスグループの結果は、若者からの寄付を開拓、維持する上での参考となります。以下にそれをいくつかご紹介します。

大きな団体に寄付しても「事務局の紙代に使われるだけ」と感じる。基金や運営費ではなく、プロジェクトや活動の成果を前面に出し、たとえ小額でも寄付が重点分野の活動や奨学金に役立てられていることを示すために、実話を伝えるのがベスト。

オンラインやフェイスブックでの寄付は、まる先が見えない「ブラックホール」。お金を使う若者が重視するのは、信頼性と透明性。チャリティーナビゲーターやメディアとの強い結びつきがあり、高い評価を受けている慈善団体として存在が確立されているロータリーは、有利な立場にある。

「ダイレクトメールはくず箱に直行」。パンフレットは時代遅れだが、それよりもひどいのは古くなったウェブページやほとんど更新されないソーシャルメディアのプロフィール。近年、GoogleとFacebookでの検索が最も多くの交流や取引をもたらしている。ウェブ上で常に新鮮さを保ち、見る人への魅力を高めるために絶えず努力すれば、潜在的な寄付者がロータリーを見つけ、寄付してくれる可能性が高まる。

若者は、寄付よりも現場に足を運び、仲間と一緒に活動することを好みます。また、自分がよく知っている団体に寄付する傾向があります。